

東海三県の私立学校の新規採用教員を対象に実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い識見を習得させることを目的に開催された「私立学校初任者研修中京地区研修会」に講演者として参加しました。『「自然災害から命を守る」様々な取り組み～水害から命を守る～』と題し、事務所より三名が講演しました。



「自然災害における取り組み」
佐伯調査課長



「水害時における備え」
本間地域防災調整官



講演を聴く研修生

（講演内容）

○自然災害における取り組み

- ・東海豪雨について
- ・近年の洪水
- ・流域治水について

○水害時における備え

- ・洪水に備える避難行動の基本と心構え
- ①洪水浸水想定区域図②洪水ハザードマップ③ハザードマップポータルサイト
- ④地点別浸水シュミレーション検索システム（浸水ナビ）⑤避難情報（自治体）
- ⑥川の防災情報⑦洪水情報のプッシュ型配信⑧逃げなきやコール⑨マイ・タイムライン

○防災における地域との連携

- ・防災教育支援
- ・地域との連携（イベントでの防災PR）

開催日：8月19日（木）

13:00～14:30

場 所：名古屋ガーデンパレス

参加者：155名

愛知県・岐阜県・三重県の私立中学校・高等学校の新規採用教員対象

研修参加者の声

- ・実際に発生した際にどうしたら良い下を考えるきっかけになった。
- ・流域治水というワードを初めて知った。このような水害状況を頭に入れた上で防災教育時に活かしていきたい
- ・災害時に慌てず行動することができるように意識していきたい。
- ・自分自身の命と生徒たちの命を守るためにいざという時に備えて平時に様々な準備をしていかなければならない
- ・災害教育にも生徒にもっと「自分事」である意識を持たせられるように工夫していきたい。